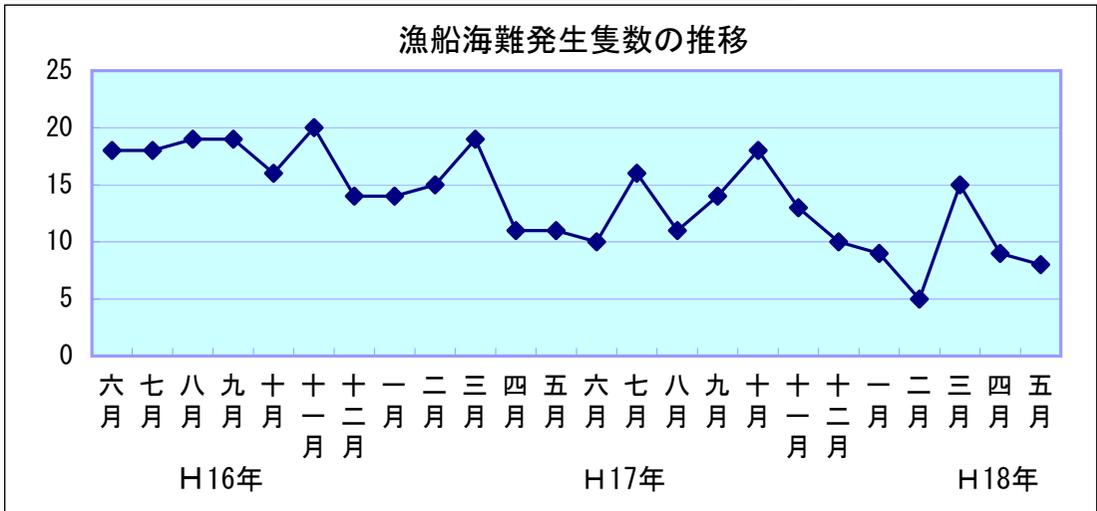
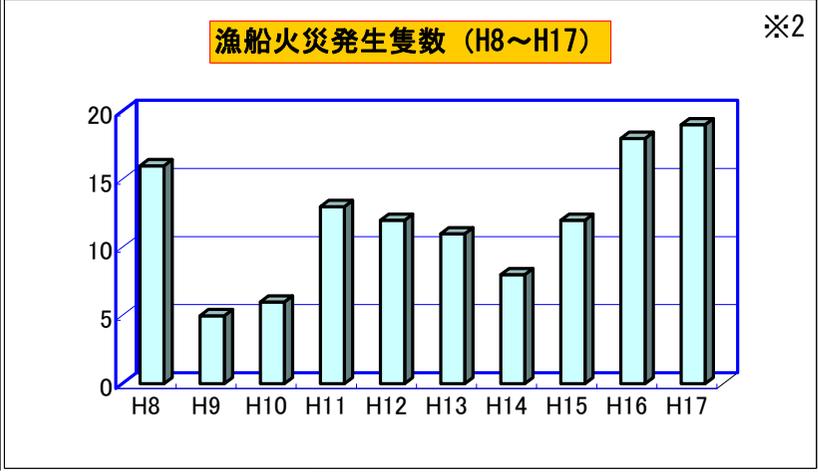
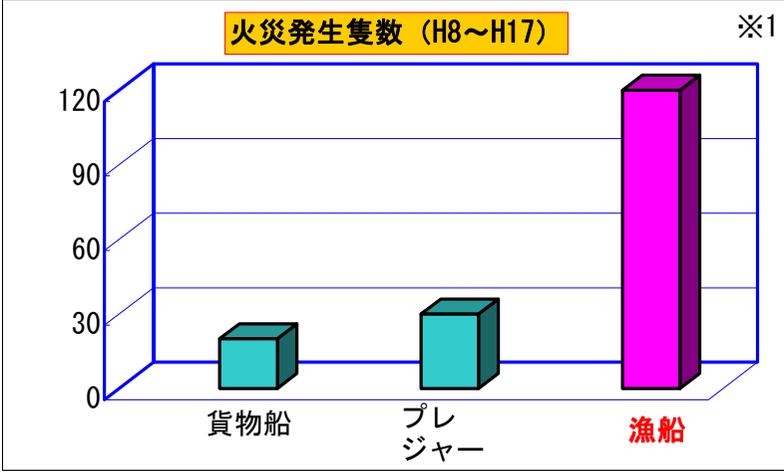




過去10年間の七管内火災発生隻数は計203隻！！
 うち、**120隻（59%）**が**漁船**で、ここ3、4年では**増加傾向**にあり、原因の殆どは「**漏電**」によるものです！（※1, ※2参照）
【集魚灯安定器、配電盤の定期的な清掃・バッテリーターミナル接続部の増締め】の励行等に努め、また、電気系統の部品で「異常に加熱」していないか？何かが焦げるような「異臭」はしないか？等機器類の状態チェックも心掛けましょう。

左の写真は、イカ釣り操業中に突然、集魚灯が消灯、間もなく操舵室全体が炎に包まれた時のもので、船長は僚船に救助されたものの、船体は炎上しながら漂流し発生から約3時間後に沈没しました。

平成18年5月	
合計8隻	
種類別	
衝突	1
乗揚	2
転覆	0
浸水	0
推進器障害	0
舵障害	0
機関故障	0
火災	1
爆発	0
行方不明	1
運航障害	3
安全障害	0
その他	0
	8
県別	
山口県	0
福岡県	2
佐賀県	0
長崎県	4
大分県	2



県別の表は、各県に所在する海上保安部署において取り扱った海難の合計数を示しています。

漁船海難月報 (速報)
 平成十八年五月分
 第七管区海上保安本部